

## 第3回嬉野市未来技術地域実装協議会

### 議事録

#### 1. 開催概要

日時：2022年3月30日（水）14:00～15:30

場所：嬉野市文化センター 2階会議室



協議会の様子

#### 2. 議事

##### (1) 第2回協議会及びプロジェクトチーム会議の報告 及び事業スケジュールについて

- ・ 事務局資料説明

##### (2) 令和4年度実施事業（案）について

- ・ 事務局（協力会社）資料説明

#### 3. 意見・質疑等

##### 佐賀県

- ・ 新幹線駅開業と同時に開始できるプロジェクトはあるのか。

##### 事務局

- ・ 令和4年6月頃開催を予定している令和4年度第1回協議会において、開業時点で具体的に何ができるか、何をするのかを決める予定である。現在事務局では、パーソナルモビリティや手ぶら観光を支える自動運転については、開業時点で開始することは難しいと考えている。ただ、情報発信に関しては、できるだけ開業時点で間に合わせたいと考えている。

##### 嬉野市（建設部長）

- ・ PT1、PT2ともに最後に人材の話があったが、現在駅周辺の管理者も決まっていない状況ではあるが、どのような方向性とするのか、この協議会でそのようなことまで今後議論していくのか教えていただきたい。

##### 事務局

- ・ まず、PTの中でいろいろな実証実験を行っていく。自走するには、マネタイズの仕方、誰の力でどのように稼いでいくかが重要になってくる。毎回PT会議でもそこが論点となるが、次年度実証実験で事業を少しずつ展開しながら皆さんに理解を深めていただいて、そこでアイデアを出しながら事業者、運営をしていくところを決めていきたいと考えている。
- ・ 協議会の中で事業者を選定するところまではできないと思う。協議会では、運営事業者の選定結果や実証実験結果等を報告する形になるだろう。

##### 佐賀県

- ・ バーチャルの方は、県外など嬉野市内にいない方に、別のところから嬉野を楽しんでもらおうということか。

### **事務局（協力企業）**

- ・ 観光目標なので、県外とまではいかなくても、まずは観光客に向けて発信するイメージ。PT1 でも議論になったが、市民が楽しむという面も当然あるが、まずは観光の PR を嬉野外の人に見ていただくことを目的としている。もちろんそれを市民が楽しんでもいいと思う。

### **佐賀県**

- ・ 目標、イメージを明確にした方が良くと思う。嬉野外の人がこれを知って好きになってもらい、嬉野に来てもらうようなものにするということか。そのような具体的な目標について、資料を見てイメージできた方が目標に向かって作りこみやすいのではないか。
- ・ モビリティの方も同様で、観光客に乗ってもらうのか、地元の人に乗ってもらうのかによって、説明の仕方やコースのとり方なども違うと思う。佐賀県も昨年吉野ヶ里歴史公園で、観光客に楽しんでもらおうと自動運転体験会を行った。そのようなことを考えてはいると思うが、外部向けにもわかるように発信した方が良くと思う。自動運転モビリティは、我々もまた実施する予定があるので、情報共有しながら進めていきたいと思っている。

### **事務局（協力企業）**

- ・ 資料上では省いたが、まずこの未来技術社会実装事業の目的は地域課題の解消である。未来技術社会実装事業は内閣府が主催しており、最終目標は、地方の人口減少の歯止めになることや、雇用創出につながっていくことにある。嬉野市の場合、観光客の減少が観光産業の落ち込みに繋がり、その落ち込みが他の産業の落ち込みにもつながっているという課題に着目している。そのため、まずは観光客をメインに考えながら、最終的に地域住民の方に展開していくという考え方がいいと思う。

### **佐賀県**

- ・ 大きな目的はわかったが、プロジェクトごとに目的を明確にした方が良く思う。

### **事務局**

- ・ 次回令和4年度第1回協議会は6月中を予定している。今年度と同様に、次年度も年3回程度の開催を予定している。